東北みずの会視察研修会報告

　東北みずの会の会員を対象に、視察研修会を実施しましたので報告いたします。
この研修会のために資料を作成し説明していただいた八戸圏域水道企業団の講師の皆様、本当にありがとうございました。

日　　時　　平成２７年１０月２日（金）　１３：００～１６：００

研　修　地　　八戸圏域水道企業団　白山浄水場、蟹沢浄水場

参加人数　　２２名

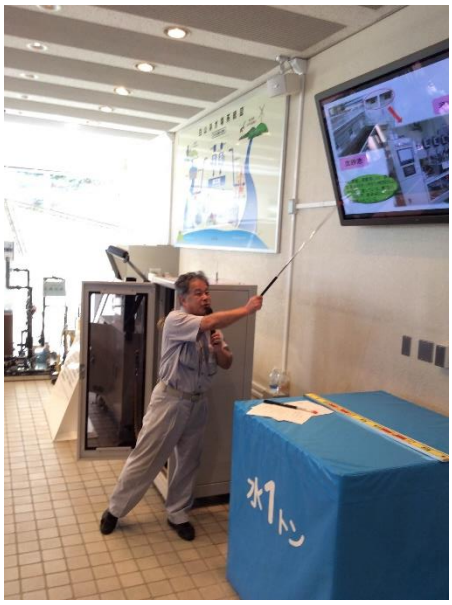
内容および講師

- 八戸圏域水道企業団の概要（資料１）　浄水課課長補佐　小野郷志様
- 白山浄水場の見学　浄水課課長補佐　小野郷志様
- 水質検査　水質管理課課長補佐　遠藤邦宏様
- 蟹沢浄水場における紫外線消毒装置（資料２）　浄水課主幹　荒沢義博様
- 質疑応答・意見交換　副企業長　古川勲様
- 技術説明一般　浄水課グループリーダー　下平吉得様

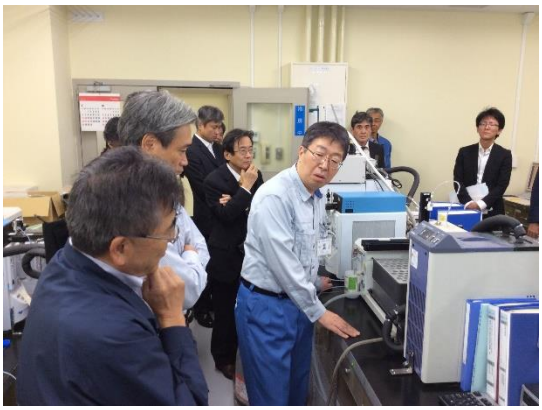
質疑応答・意見交換会

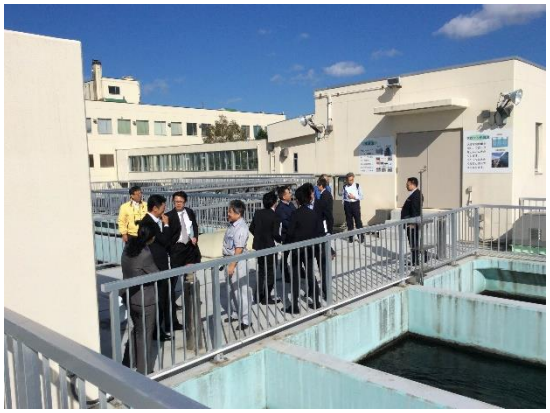
　見学後の質問や意見として、官民連携を進めていくうえで重要なことはなにか（石橋会長）、昨年１１月の「地方自治と水道」共同プロジェクトで説明があった広域連携はどのように進展したか（橋本副会長）、広域連携は水道以外の行政面でも可能か（岡崎事務局長）、八戸圏域殿は耐震管の開発以来、技術的チャレンジ精神が伝統となっているがそれを継続する秘訣はなにか（草野）といった質問がありました。
　また、官民連携では民間にある技術も限定されるので事業体の人材を定年後も含めて継続雇用し、技術を継承してほしい（細山さん）、職員が減少しているなかで、どのまで民間に任せることができるかを検討することが重要（大久保さん）、全国的に見ると人材育成体制が崩壊しているところが多々ある中で、八戸圏域殿はこれがしっかりできているところがすばらしい（有村さん）という意見ありました。
　古川勲様には質問や意見に一つひとつていねいにご回答とご意見をいただきましたこと、誠にありがとうございました。

写　真　集

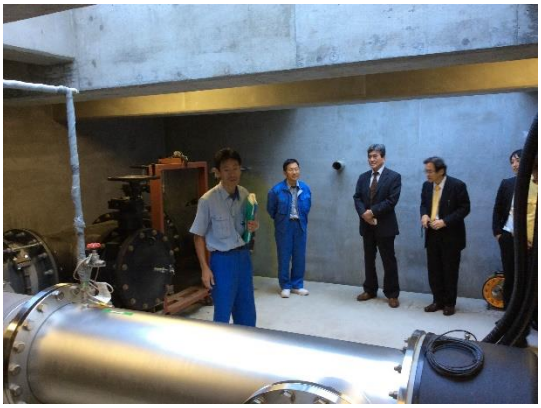


概要の説明





白山浄水場内を見学



蟹沢浄水場の紫外線消毒装置を見学

質疑応答・意見交換会

以　上